

学校コード F128310108883

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 研究科の設置

注1

届出

注2

武庫川女子大学大学院 食物栄養科学研究科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人武庫川学院
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 経営企画部経営企画課

職名・氏名

電話番号 0798-45-3512

(夜間) 0798-45-3512

e-mail hozin@mukogawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

食物栄養科学研究科

＜食物栄養学専攻（M）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	23
7. その他全般的事項	24

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人武庫川学院

(2) 大学名

武庫川女子大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒663-8558

兵庫県西宮市池開町6-46

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オオカワラ リョウ) 大河原 量 (平成13年9月)		
学長	(セグチ カズヨシ) 瀬口 和義 (平成30年4月)		
研究科長	(タカハシ キョウコ) 高橋 享子 (令和4年4月)		
専攻長	(ハヤシ コウイチ) 林 宏一 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
食物栄養科学研究科 食物栄養学専攻(M) 修士(食物栄養学)	家政関係	2 年	8 人	2年次 0 人 3年次 — 人 4年次 — 人	16 人	—	<基礎となる学部等> 食物栄養科学部食物栄養学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	8 [—]	— [—]	8 [—]	— [—]	0.62倍	一倍	0.62倍	一倍	
志願者数	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	8 [—]	— [—]	3 [—]	— [—]					
受験者数	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	8 [—]	— [—]	3 [—]	— [—]					
合格者数	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	8 [—]	— [—]	3 [—]	— [—]					
B 入学者数	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	7 [—]	— [—]	3 [—]	— [—]					
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	0.87	—	0.37	—					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 編入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	7 [—] (—)	0 [—] (—)	3 [—] (—)	0 [—] (—)	
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	7 [—] (—)	0 [—] (—)	
3年次			/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)
4年次	/				/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)
計			— [—] (—)	— [—] (—)			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	7 [—] (—)	— [—] (—)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。**また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
令和3年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
令和4年度	7 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
令和5年度	10 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{7} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{10} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<食物栄養科学研究科 食物栄養学専攻 (M)>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究指導科目	(論文指導)	1~2	-			6	6					
	食物栄養科学特別実験Ⅰ	1通		6		5	4					
	食物栄養科学特別実験Ⅱ	2通		6		5	4					
	実践管理栄養特別実習Ⅰ	1通		3		1	2					
	実践管理栄養特別実習Ⅱ	2通		3		1	2					
小計(4科目)	-	0	18	0	6	6	0	0	0			
専門科目	栄養疫学特論	1通	2			1						
	生物統計学	1前	1									1
	健康情報解析実践論	1前		2		1	1					
	栄養学特論	1・2前		2			2					
	応用栄養学特論	1・2後		2			2					
	栄養教育論特論	1・2前		2		1		1				1
	臨床栄養学特論	1・2後		2			1					
	公衆栄養学特論	1・2前		2		1						
	給食経営管理特論	1・2後		2								1
	栄養免疫学特論	1・2前		2		1						
	病態栄養生理学特論	1前		1		1						
	病態栄養生理学研究特論	1・2後		1		1						
	食環境科学特論	1前		2								1
	身体活動と栄養	1・2前		2		1	1					2
	福祉行政論特論	1前		1		1						
	高齢医学特論	1前		1								1
	医療倫理特論	1前		1								1
	健康政策学特論	1・2後		1		1						
	健康管理学研究特論	1・2前		1		1						
	臨床医学スキルアップ実習	1通		1		1						
	栄養教諭論特論	1・2前		2		1						
	食教育実践論	1後		2				1				
	臨床実習Ⅰ	1後		4			1					
	臨床実習Ⅱ	2前		4			1					
	エビデンス臨床栄養学演習Ⅰ	1前		2		1	3					3
	エビデンス臨床栄養学演習Ⅱ	1後		2		1	3					3
	POS演習	1前		2		1	1					1
小計(27科目)	-	3	45	0	5	6	2	0	0	0	9	
関連科目	食品衛生学特論	1・2前		2								1
	食品安全科学特論	1・2前		2								1
	健康食品学特論	2後		2								1
	栄養ケア食品特論	1・2前		2								3
	小計(4科目)	-	0	8	0	0	0	0	0	0	0	5
合計(35科目)	-	3	71	0	6	8	2	0	0	0	13	

修了要件及び履修方法

2年以上在学して、30単位以上を修得するとともに、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。(履修科目の登録の上限:設定なし)

なお、健康栄養科学コースは、研究指導科目の選択科目のうち食物栄養科学特別実験Ⅰ及び食物栄養科学特別実験Ⅱの計12単位を必修とする。また専門科目の選択科目のうち栄養学特論、応用栄養学特論、栄養教育論特論、臨床栄養学特論、公衆栄養学特論、給食経営管理特論から6単位以上を選択必修とする。

実践管理栄養コースは、研究指導科目の選択科目のうち実践管理栄養特別実習Ⅰ、実践管理栄養特別実習Ⅱの計6単位と専門科目のうち臨床実習Ⅰ、臨床実習Ⅱ、エビデンス臨床栄養学演習Ⅰ、エビデンス臨床栄養学演習Ⅱの計12単位を必修とする。また、選択科目のうち、POS演習、病態栄養生理学特論、病態栄養生理学研究特論、福祉行政論特論、高齢医学特論、医療倫理特論、応用栄養学特論、臨床栄養学特論から4単位以上を選択必修とする。

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究指導科目	(論文指導)	1~2	-			11	3					
	食物栄養科学特別実験Ⅰ	1通		6		7	2					
	食物栄養科学特別実験Ⅱ	2通		6		7	2					
	実践管理栄養特別実習Ⅰ	1通		3		2	1					
	実践管理栄養特別実習Ⅱ	2通		3		2	1					
小計(4科目)	-	0	18	0	11	3	0	0	0			
専門科目	栄養疫学特論	1通	2			1						
	生物統計学	1前	1									1
	健康情報解析実践論	1前		2			2					
	栄養学特論	1・2前		2			1	1				
	応用栄養学特論	1・2後		2			1					
	栄養教育論特論	1・2前		2		1		1				1
	臨床栄養学特論	1・2後		2			1					
	公衆栄養学特論	1・2前		2		1						
	給食経営管理特論	1・2後		2								1
	栄養免疫学特論	1・2前		2		1						
	病態栄養生理学特論	1前		1		1						
	病態栄養生理学研究特論	1・2後		1		1						
	食環境科学特論	1前		2								1
	身体活動と栄養	1・2前		2		1	1					2
	福祉行政論特論	1前		1		1						
	高齢医学特論	1前		1								1
	医療倫理特論	1前		1								1
	健康政策学特論	1・2後		1		1						
	健康管理学研究特論	1・2前		1		1						
	臨床医学スキルアップ実習	1通		1		1						
	栄養教諭論特論	1・2前		2		1						
	食教育実践論	1後		2				1				
	臨床実習Ⅰ	1後		4			1					
	臨床実習Ⅱ	2前		4			1					
	エビデンス臨床栄養学演習Ⅰ	1前		2		2	3	1				2
	エビデンス臨床栄養学演習Ⅱ	1後		2		2	3	1				2
	POS演習	1前		2		2		2				1
小計(27科目)	-	3	45	0	9	3	0	0	0	0	9	
関連科目	食品衛生学特論	1・2前		2								1
	食品安全科学特論	1・2前		2								1
	健康食品学特論	2後		2								1
	栄養ケア食品特論	1・2前		2								3
	小計(4科目)	-	0	8	0	0	0	0	0	0	0	5
合計(35科目)	-	3	71	0	11	5	0	0	0	0	13	

修了要件及び履修方法

2年以上在学して、30単位以上を修得するとともに、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。(履修科目の登録の上限:設定なし)

なお、健康栄養科学コースは、研究指導科目の選択科目のうち食物栄養科学特別実験Ⅰ及び食物栄養科学特別実験Ⅱの計12単位を必修とする。また専門科目の選択科目のうち栄養学特論、応用栄養学特論、栄養教育論特論、臨床栄養学特論、公衆栄養学特論、給食経営管理特論から6単位以上を選択必修とする。

実践管理栄養コースは、研究指導科目の選択科目のうち実践管理栄養特別実習Ⅰ、実践管理栄養特別実習Ⅱの計6単位と専門科目のうち臨床実習Ⅰ、臨床実習Ⅱ、エビデンス臨床栄養学演習Ⅰ、エビデンス臨床栄養学演習Ⅱの計12単位を必修とする。また、選択科目のうち、POS演習、病態栄養生理学特論、病態栄養生理学研究特論、福祉行政論特論、高齢医学特論、医療倫理特論、応用栄養学特論、臨床栄養学特論から4単位以上を選択必修とする。

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究指導科目	(論文指導)	1~2	-			8	4					
	食物栄養科学特別実験Ⅰ	1通		6		6	3					
	食物栄養科学特別実験Ⅱ	2通		6		6	3					
	実践管理栄養特別実習Ⅰ	1通		3		2	1					
	実践管理栄養特別実習Ⅱ	2通		3		2	1					
	小計(4科目)	-	0	18	0	8	4	0	0	0		
専門科目	栄養疫学特論	1通	2			1						
	生物統計学	1前	1									1
	健康情報解析実践論	1前		2		2						
	栄養学特論	1・2前		2			2					
	応用栄養学特論	1・2後		2		1	1					
	栄養教育論特論	1・2前		2		1		1				1
	臨床栄養学特論	1・2後		2			1					
	公衆栄養学特論	1・2前		2		1						
	給食経営管理特論	1・2後		2								1
	栄養免疫学特論	1・2前		2		1						
	病態栄養生理学特論	1前		1		1						
	病態栄養生理学研究特論	1・2後		1		1						
	食環境科学特論	1前		2								1
	身体活動と栄養	1・2前		2		1	1					2
	福祉行政論特論	1前		1		1						
	高齢医学特論	1前		1								1
	医療倫理特論	1前		1								1
	健康政策学特論	1・2後		1		1						
	健康管理学研究特論	1・2前		1		1						
	臨床医学スキルアップ実習	1通		1		1						
	栄養教諭論特論	1・2前		2		1						
	食教育実践論	1後		2			1					
	臨床実習Ⅰ	1後		4			1					
	臨床実習Ⅱ	2前		4			1					
	エビデンス臨床栄養学演習Ⅰ	1前		2		2	2					3
	エビデンス臨床栄養学演習Ⅱ	1後		2		2	2					3
	POS演習	1前		2		1	1					1
小計(27科目)	-	3	45	0	7	5	1	0	0	0	9	
関連科目	食品衛生学特論	1・2前		2								1
	食品安全科学特論	1・2前		2								1
	健康食品学特論	2後		2								1
	栄養ケア食品特論	1・2前		2								3
	小計(4科目)	-	0	8	0	0	0	0	0	0	0	5
合計(35科目)	-	3	71	0	8	7	1	0	0	0	13	

修了要件及び履修方法

2年以上在学して、30単位以上を修得するとともに、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。(履修科目の登録の上限:設定なし)

なお、健康栄養科学コースは、研究指導科目の選択科目のうち食物栄養科学特別実験Ⅰ及び食物栄養科学特別実験Ⅱの計12単位を必修とする。また専門科目の選択科目のうち栄養学特論、応用栄養学特論、栄養教育論特論、臨床栄養学特論、公衆栄養学特論、給食経営管理特論から6単位以上を選択必修とする。

実践管理栄養コースは、研究指導科目の選択科目のうち実践管理栄養特別実習Ⅰ、実践管理栄養特別実習Ⅱの計6単位と専門科目のうち臨床実習Ⅰ、臨床実習Ⅱ、エビデンス臨床栄養学演習Ⅰ、エビデンス臨床栄養学演習Ⅱの計12単位を必修とする。また、選択科目のうち、POS演習、病態栄養生理学特論、病態栄養生理学研究特論、福祉行政論特論、高齢医学特論、医療倫理特論、応用栄養学特論、臨床栄養学特論から4単位以上を選択必修とする。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】」による授業科目には「【臨】」、「【連携実務演習】」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

・担当専任教員の職位変更に伴い以下の科目の専任教員等の配置を変更。
「(論文指導)」教授6・准教授6→教授8・准教授4、「食物栄養科学特別実験Ⅰ」教授5・准教授4→教授6・准教授3、
「食物栄養科学特別実験Ⅱ」教授5・准教授4→教授6・准教授3、「実践管理栄養特別実習Ⅰ」教授1・准教授2→教授2・准教授1、
「実践管理栄養特別実習Ⅱ」教授1・准教授2→教授2・准教授1、「健康情報解析実践論」教授1・准教授1→教授2、
「応用栄養学特論」准教授2→教授1・准教授1、「エビデンス臨床栄養学演習Ⅰ」教授1・准教授3→教授2・准教授2、
「エビデンス臨床栄養学演習Ⅱ」教授1・准教授3・兼3→教授2・准教授2・兼3、「食教育実践論」講師1→准教授1

【令和5年度】

・担当専任教員の退任、就任及び職位変更に伴い以下の科目の専任教員等の配置を変更。
「(論文指導)」教授8・准教授4→教授11・准教授3、
「エビデンス臨床栄養学演習Ⅰ」教授2・准教授2→教授3・准教授1・兼2、
「エビデンス臨床栄養学演習Ⅱ」教授2・准教授2→教授3・准教授1・兼2、「POS演習」教授1・准教授1・兼1→教授2・兼1
・担当専任教員の退任及び職位変更に伴い以下の科目の専任教員等の配置を変更。
「実践管理栄養特別実習Ⅱ」教授2・准教授1→教授2、「応用栄養学特論」教授1・准教授1→教授1
・担当専任教員の職位変更に伴い以下の科目の専任教員等の配置を変更。
「食物栄養科学特別実験Ⅰ」教授6・准教授3→教授7・准教授2、「食物栄養科学特別実験Ⅱ」教授6・准教授3→教授7・准教授2、
「栄養学特論」准教授2→教授1・准教授1、「栄養教育論特論」教授1・講師1・兼1→教授1・准教授・兼1、
「臨床栄養学特論」准教授1→教授1、「臨床実習Ⅰ」准教授1→教授1、「臨床実習Ⅱ」准教授1→教授1

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
2 科目	33 科目	0 科目	35 科目	2 科目 [0]	33 科目 [0]	0 科目 [0]	35 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{35} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	武庫川女子大学短期大 学部（必要面積14,000 ㎡）と共用 駐輪場用途変更、校舎 敷地拡張、実験住宅棟 敷地取得（4） 堅忍寮ひろば処分 （4） 笠屋IH寮取得、堅忍寮 処分（4） 借用面積：1,129.19㎡ 借用期間：～令和30年 11月		
	校 舎 敷 地	68,039.60 ㎡	78,305.89 77,747.55 ㎡	0 ㎡	146,345.49 145,787.15 ㎡			
	運 動 場 用 地	0 ㎡	90,463.09 92,502.75 ㎡	0 ㎡	90,463.09 92,502.75 ㎡			
	小 計	68,039.60 ㎡	168,768.98 170,250.30 ㎡	0 ㎡	236,808.58 238,289.90 ㎡			
	そ の 他	0 ㎡	8,408.27 9627.66 ㎡	0 ㎡	8,408.27 9627.66 ㎡			
	合 計	68,039.60 ㎡	177,177.25 179,877.96 ㎡	0 ㎡	245,216.85 247,917.56 ㎡			
(2) 校 舎	専 用		共 用	共用する他の 学校等の専用	計	武庫川女子大学短期大 学部（必要面積10,450 ㎡）と共用 景観棟実習室建物種類変 更、第17カッス・第2体育館・ 西北C栄養クリニック用途変更、生 活環境2号館登記面積修正、 丹波学苑教員棟除却（5） 景観建築スタジオ西館新築、生活 環境2号館新棟新築、食物栄養科学 館別館新築、同面積差異修正、実 験住宅棟取得、訪問看護SI廃止 （4）		
	71,942.11	72,030.11	119,601.86 119,576.65		191,543.97 191,606.76			
	72,056.13 ㎡	118,718.08 ㎡	0 ㎡	190,774.21 ㎡				
	(68,335.36)	(116,268.57)		(184,603.93)				
	(69,261.21)	(115,507.65)		(184,768.86)				
	(69,363.31㎡)	(115,968.32㎡)	(0 ㎡)	(185,331.63㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	室数変更（5） 室数変更（4） 大学全体		
	161 156 147 室	219 212 196 室	449 455 411 室	10 12 室 (補助職員 1 人)	4 室 (補助職員 2 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		教員数変更（5）		
	食物栄養科学研究科 食物栄養学専攻			17 16 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・学術雑誌・電子 ジャーナル・視聴覚資 料については、研究科 単位での特定不能なた め、大学全体の数。機 械・器具および標本は 食物栄養科学部との 計。 図書、学術雑誌、視聴 覚資料の充実による増 加（4）
	食物栄養科学研究科	700,104(163,545) 694,591〔163,579〕 (700,104(163,545)) (694,591〔163,579〕)	9,552(1956) 9,527〔1,949〕 (9,552(1956)) (9,527〔1,949〕)	8,832(7,281) 8,735〔7,185〕 (8,832(7,281)) (8,735〔7,185〕)	11,241 11,155 (11,241) (11,155)	3,435 (3,187)	23 (23)	
	計	700,104(163,545) 694,591〔163,579〕 (700,104(163,545)) (694,591〔163,579〕)	9,552(1956) 9,527〔1,949〕 (9,552(1956)) (9,527〔1,949〕)	8,832(7,281) 8,735〔7,185〕 (8,832(7,281)) (8,735〔7,185〕)	11,241 11,155 (11,241) (11,155)	3,435 (3,187)	23 (23)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		用途変更による面積・ 座席数減（5） 座席数増（4）		
	11,386.21 12,499.61 ㎡	1,201 1,740 1,716		868,000				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					用途変更（5）	
	17,535.74 17,497.24 ㎡	総合スタジアム陸上トラック、ソフトボールグラウンド、 テニスコート、トレーニングスタジオ						

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体。大学院研究科単位での算出不能のため、大学学部との合計。 図書費には、電子ジャーナル、データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。
		教員1人当り研究費等	358千円	358千円	図書購入費	99,000千円	99,000千円	99,000千円	
	共同研究費等	90,000千円	90,000千円	設備購入費	392,000千円	392,000千円	392,000千円		
学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	776千円	776千円	千円	千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	武庫川女子大学										2	1	2	1
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
文学部	4	350	3年次50	1,500	—	0.88	—	0.89	—	—	昭和33	—		
日本語日本文学科	4	150	3年次25	650	学士(日本文学)	1.00	—	1.01	—	—	昭和33	兵庫県西宮市池開町6番46号		
英語グローバル学科	4	200	3年次25	850	学士(国際コミュニケーション)	0.79	—	0.80	—	—	昭和33	同上	令和5年度より名称変更	
教育学科	4	—	—	—	学士(教育学)	—	—	—	—	—	昭和38	同上	平成31年度入学生より学生募集停止	
心理・社会福祉学科	4	—	—	—	学士(心理学)	—	—	—	—	—	平成12	同上	令和5年度入学生より学生募集停止	
教育学部	4	240	3年次25	1,010	—	1.02	—	1.02	—	—	平成31	—		
教育学科	4	240	3年次25	1,010	学士(教育学)	1.02	—	1.02	—	—	平成31	兵庫県西宮市池開町6番46号		
心理・社会福祉学部	4	220	0	880	—	0.99	—	0.99	—	—	令和5	—		
心理学科	4	150	0	600	学士(心理学)	0.96	—	0.96	—	—	令和5	兵庫県西宮市池開町6番46号		
社会福祉学科	4	70	0	280	学士(社会福祉学)	1.04	—	1.04	—	—	令和5	同上		
健康・スポーツ科学部	4	280	3年次20	1,160	—	0.97	—	0.96	—	—	平成23	—		
健康・スポーツ学科	4	180	3年次20	760	学士(健康科学)	0.99	—	1.01	—	—	平成23	兵庫県西宮市池開町6番46号		
スポーツマネジメント学科	4	100	0	400	学士(スポーツマネジメント)	0.57	—	0.57	—	—	令和5	同上		
生活環境学部	4	165	3年次20	700	—	1.04	—	1.06	—	—	平成6	—		
生活環境学科	4	165	3年次20	700	学士(生活環境学)	1.04	—	1.06	—	—	平成6	兵庫県西宮市池開町6番46号		
食物栄養学科	4	—	0	—	学士(食物栄養学)	—	—	—	—	—	平成6	同上	令和2年度入学生より学生募集停止	
情報メディア学科	4	—	0	—	学士(情報メディア学)	—	—	—	—	—	平成6	同上	令和5年度入学生より学生募集停止	
建築学科	4	—	0	—	学士(建築学)	—	—	—	—	—	平成18	兵庫県西宮市戸崎町1番13号	令和2年度入学生より学生募集停止	
社会情報学部	4	180	0	720	—	1.02	—	1.02	—	—	令和5	—		
社会情報学科	4	180	0	720	学士(社会情報学)	1.02	—	1.02	—	—	令和5	兵庫県西宮市池開町6番46号		
食物栄養科学部	4	280	3年次15	1,150	—	0.96	—	0.94	—	—	令和2	—		
食物栄養学科	4	200	3年次10	820	学士(食物栄養学)	0.99	—	0.97	—	—	令和2	兵庫県西宮市池開町6番46号		
食創造科学科	4	80	3年次5	330	学士(食創造科学)	0.89	—	0.85	—	—	令和2	同上		
建築学部	4	85	0	340	—	1.07	—	1.05	—	—	令和2	—		
建築学科	4	45	0	180	学士(建築学)	1.16	—	1.15	—	—	令和2	兵庫県西宮市戸崎町1番13号		
景観建築学科	4	40	0	160	学士(景観建築学)	0.97	—	0.95	—	—	令和2	同上		
音楽学部	4	50	0	200	—	0.72	—	0.70	—	—	平成21	—		
演奏学科	4	30	0	120	学士(音楽)	0.54	—	0.52	—	—	平成21	兵庫県西宮市池開町6番46号		
応用音楽学科	4	20	0	80	学士(応用音楽)	0.98	—	0.97	—	—	平成21	同上		
薬学部(6年制)	6	210	0	1,260	—	0.77	—	0.76	—	—	平成18	—		
薬学科	6	210	0	1,260	学士(薬学)	0.77	—	0.76	—	—	平成18	兵庫県西宮市甲子園九条町11番68号		
薬学部(4年制)	4	40	0	160	—	0.99	—	1.08	—	—	平成18	—		
健康生命薬科学科	4	40	0	160	学士(薬科学)	0.99	—	1.08	—	—	平成18	兵庫県西宮市甲子園九条町11番68号		
看護学部	4	80	0	320	—	1.10	—	1.09	—	—	平成27	—		
看護学科	4	80	0	320	学士(看護学)	1.10	—	1.09	—	—	平成27	兵庫県西宮市池開町6番46号		
経営学部	4	200	0	800	—	1.04	—	1.03	—	—	令和2	—		
経営学科	4	200	0	800	学士(経営学)	1.04	—	1.03	—	—	令和2	兵庫県西宮市池開町6番46号		
大学全体	4 6	2,170 210	3年次 130	10,200	—	—	—	—	—	—	—	—		

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「—」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず本字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

(掲載省略)

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<食物栄養科学研究科 食物栄養学専攻（M）>

（1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
なし	

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>【武庫川女子大学FD推進委員会】</p> <p>平成20年1月に学長直属の全学組織として設置。構成員は、全学部学科等から選出された委員（各1人）と教務部長及び学長が委嘱した委員（令和4年度21人、令和5年度22人）。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>【武庫川女子大学FD推進委員会】</p> <p>令和4年度の委員会の開催は7回（5・7・8・10・11・1・2月）。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>【武庫川女子大学FD推進委員会】</p> <p>(1) 授業改善のための基本方針の策定に関する事項</p> <p>(2) 教員の研修会及び講習会の開催に関する事項</p> <p>(3) 教員の教授法及び教授活動の相互研鑽に関する事項</p> <p>(4) FD活動に関する情報の収集と提供に関する事項</p> <p>(5) 各学科の教員へのFD活動の啓発に関する事項</p> <p>(6) 教員の教授活動の支援に関する事項</p> <p>(7) その他、学長の諮問する事項及び委員会が必要と認めた事項</p>

② 実施状況

a 実施内容

【武庫川女子大学FD推進委員会】

令和2年度から、オンラインにて委員会を開催している。

ア. オンラインを中心とした全学的なFD講演会、勉強会等の企画・実施

イ. 授業公開及び授業改善奨励制度の企画・実施

ウ. FDニュースの編集・発行

エ. 各学部・学科におけるFDに関する情報共有

【食物栄養科学部・食物栄養科学研究科におけるFD活動】

学科教員を委員とする学科FD委員会が中心となり、FD活動を進めていく。

【上記の他、大学として行っているFD/SD活動の内容】

オ. 新任教員研修

b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む）

ア. オンラインを中心とした全学的なFD講演会、勉強会等の企画・実施

・教育改革講演会の開催（令和4年8月実施。テーマ：「大学におけるDXの取り組み」）

・週末FD授業サロンの開催（全3回開催）

・その他、共通教育部との共催企画

イ. 授業公開及び授業改善奨励制度の企画・実施

・前期、後期にそれぞれ期間を設けて授業公開を実施。

・日々の教育活動の中で授業改善につながるより良い授業方法の工夫と実践に取り組む教員への奨励制度の企画・運営。

ウ. FDニュースの編集・発行

・「FDニュース第21号」を令和4年2月に発行。ホームページでも公開。

エ. 各学部・学科におけるFDに関する情報共有

・各学科におけるFDの取組み状況の調査・報告。

オ. 新任教員研修

・本学の教育支援システムや、教育方法等の紹介、新任教員の同僚性の構築等を目的としたオンラインと対面のハイブリッド形式での研修を全15回実施。

・令和5年度についても、対面とオンラインのハイブリッド形式による15回のプログラムを計画している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・平成26年4月、事務局組織に「教育開発支援室」を設置（現在は「学長企画室」）し、大学教育改革推進委員会やFD推進委員会の庶務を担う専任職員を配置して全学の教育活動の支援体制を整えている。

同室では、学外で開催されるFD関係の研修会や高等教育に関連する研究会などについて、学内システムを利用して教員に案内し、教員の質向上につながる取り組みを行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

例年、以下のa、bの通り実施。

a 実施の有無及び実施時期

(1) 実施時期 前期（7月）、後期（12月中旬～1月初）

(2) 調査方法 学内の「授業アンケートシステム」に学生が直接入力

b 教員や学生への公開状況、方法等

・前期及び後期とも、授業担当者は授業期間内に、アンケート結果に対して学生に改善点等を含んだフィードバックを行うとともに、その結果はパソコン上でも閲覧可能としている。

・大学院も平成29年度より、原則、全ての研究科において講義科目を対象に実施。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

食物栄養科学研究科食物栄養学専攻修士課程では、既存の生活環境学研究科食物栄養学専攻の教育研究を継承し、高度化していく食物栄養科学の分野で、豊かな教養と感性、深い洞察力とコミュニケーション能力を備え、実践的指導力を有した人材育成を実施する。

令和5年5月1日現在の開設1年の現状においては、設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価を行う段階にはないが、入学定員8人に対して、令和4年度入試においては8人、令和5年度入試においては3人の志願者があり、平均志願倍率は0.68倍となった。このことは、本専攻の特色が一定程度理解されていると判断できる。

今後は設置計画を着実に履行し、食物栄養の分野にとどまらず、専門的な知識と技術を広く学び、食による予防・医療栄養を遂行できる指導力のある人材の養成に努めたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年3月31日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・令和11年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。

学校コード F128310108883

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 研究科の設置

注1

届出

注2

武庫川女子大学大学院 食物栄養科学研究科

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人武庫川学院
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 経営企画部経営企画課

職名・氏名

電話番号 0798-45-3512

(夜間) 0798-45-3512

e-mail hozin@mukogawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

食物栄養科学研究科

＜食物栄養学専攻（D）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	20
7. その他全般的事項	21

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人武庫川学院

(2) 大学名

武庫川女子大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒663-8558

兵庫県西宮市池開町6-46

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オオカワラ リョウ) 大河原 量 (平成13年9月)		
学長	(セグチ カズヨシ) 瀬口 和義 (平成30年4月)		
研究科長	(タカハシ キョウコ) 高橋 享子 (令和4年4月)		
専攻長	(ハヤシ コウイチ) 林 宏一 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
食物栄養科学研究科 食物栄養学専攻(D) 博士(食物栄養学)	家政関係	3年	2人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 —人	6人	—	<基礎となる学部等> 食物栄養科学部食物栄養学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	2	—	0.50倍	一倍	0.25倍	一倍	
志願者数	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	1	(—)	1	(—)					
受験者数	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	1	(—)	1	(—)					
合格者数	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	1	(—)	1	(—)					
B 入学者数	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	1	(—)	1	(—)					
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	0.50	0.50	—	—					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 編入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・ また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	1 [—] (—)	0 [—] (—)	1 [—] (—)	0 [—] (—)	
2年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	0 [—] (—)	0 [—] (—)	
3年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	1 [—] (—)	— [—] (—)	1 [—] (—)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。**また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
令和3年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
令和4年度	1 人	1 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	1 人	0 人	体調不良(1人)
令和5年度	1 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		1 人		1 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} \frac{0}{1} = \boxed{\quad} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} \frac{1}{1} = \boxed{100} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} \frac{0}{1} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<食物栄養科学研究科 食物栄養学専攻 (D)>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	食物栄養学特殊演習	1前	1			5	3					
	小計 (1科目)	-	1	0	0	5	3	0	0	0		
研究指導科目	論文指導 I	1前	1			5	3					
	論文指導 II	1後	1			5	3					
	論文指導 III	2前	1			5	3					
	論文指導 IV	2後	1			5	3					
	論文指導 V	3前	1			5	3					
	論文指導 VI	3後	1			5	3					
	小計 (6科目)	-	6	0	0	5	3	0	0	0		
合計 (7科目)	-	7	0	0	5	3	0	0	0			
修了要件及び履修方法												
3年以上在学して、7単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出して、その審査及び最終試験を受ける。 (履修科目の登録の上限：設定なし)												

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	食物栄養学特殊演習	1前	1			6	1					
	小計 (1科目)	-	1	0	0	6	1	0	0	0		
研究指導科目	論文指導 I	1前	1			6	1					
	論文指導 II	1後	1			6	1					
	論文指導 III	2前	1			6	1					
	論文指導 IV	2後	1			6	1					
	論文指導 V	3前	1			6	1					
	論文指導 VI	3後	1			6	1					
	小計 (6科目)	-	6	0	0	6	1	0	0	0		
合計 (7科目)	-	7	0	0	6	1	0	0	0			
修了要件及び履修方法												
3年以上在学して、7単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出して、その審査及び最終試験を受ける。 (履修科目の登録の上限：設定なし)												

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	食物栄養学特殊演習	1前	1			5	3					
	小計 (1科目)	-	1	0	0	5	3	0	0	0		
研究指導科目	論文指導 I	1前	1			5	3					
	論文指導 II	1後	1			5	3					
	論文指導 III	2前	1			5	3					
	論文指導 IV	2後	1			5	3					
	論文指導 V	3前	1			5	3					
	論文指導 VI	3後	1			5	3					
	小計 (6科目)	-	6	0	0	5	3	0	0	0		
合計 (7科目)	-	7	0	0	5	3	0	0	0			
修了要件及び履修方法												
3年以上在学して、7単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出して、その審査及び最終試験を受ける。 (履修科目の登録の上限：設定なし)												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

特になし

【令和5年度】

・担当専任教員の退任及び職位変更に伴い以下の科目の専任教員等の配置を変更。
「食物栄養学特殊演習」教授5・准教授3→教授6・准教授1、
「論文指導Ⅰ」教授5・准教授3→教授6・准教授1、「論文指導Ⅱ」教授5・准教授3→教授6・准教授1、
「論文指導Ⅲ」教授5・准教授3→教授6・准教授1、「論文指導Ⅳ」教授5・准教授3→教授6・准教授1、
「論文指導Ⅴ」教授5・准教授3→教授6・准教授1、「論文指導Ⅵ」教授5・准教授3→教授6・准教授1

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
7 科目	0 科目	0 科目	7 科目	7 科目 [0]	0 科目 [0]	0 科目 [0]	7 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{7} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	武庫川女子大学短期大 学部（必要面積14,000 ㎡）と共用 駐輪場用途変更、校舎 敷地拡張、実験住宅棟 敷地取得（4） 堅忍寮ひろば処分 （4） 笠屋IH寮取得、堅忍寮 処分（4） 借用面積：1,129.19㎡ 借用期間：～令和30年 11月		
	校 舎 敷 地	68,039.60 ㎡	78,305.89 77,747.55 ㎡	0 ㎡	146,345.49 145,787.15 ㎡			
	運 動 場 用 地	0 ㎡	90,463.09 92,502.75 ㎡	0 ㎡	90,463.09 92,502.75 ㎡			
	小 計	68,039.60 ㎡	168,768.98 170,250.30 ㎡	0 ㎡	236,808.58 238,289.90 ㎡			
	そ の 他	0 ㎡	8,408.27 9627.66 ㎡	0 ㎡	8,408.27 9627.66 ㎡			
	合 計	68,039.60 ㎡	177,177.25 179,877.96 ㎡	0 ㎡	245,216.85 247,917.56 ㎡			
(2) 校 舎	専 用		共 用	共用する他の 学校等の専用	計	武庫川女子大学短期大 学部（必要面積10,450 ㎡）と共用 景観棟実習室建物種類変 更、第17カッス・第2体育館・ 西北C栄養クリニック用途変更、生 活環境2号館登記面積修正、 丹波学苑教員棟除却（5） 景観建築スタジオ西館新築、生活 環境2号館新棟新築、食物栄養科学 館別館新築、同面積差異修正、実 験住宅棟取得、訪問看護SI廃止 （4）		
	71,942.11	72,030.11	119,601.86 119,576.65		191,543.97 191,606.76			
	72,056.13 ㎡	118,718.08 ㎡	0 ㎡	190,774.21 ㎡				
	(68,335.36)	(116,268.57)		(184,603.93)				
	(69,261.21)	(115,507.65)		(184,768.86)				
	(69,363.31㎡)	(115,968.32㎡)	(0 ㎡)	(185,331.63㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	室数変更（5） 室数変更（4） 大学全体		
	161 156 147 室	219 212 196 室	449 455 411 室	10 12 室 (補助職員 1 人)	4 室 (補助職員 2 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		教員数変更（5）		
	食物栄養科学研究科 食物栄養学専攻			7 8 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	図書・学術雑誌・電子 ジャーナル・視聴覚資 料については、研究科 単位での特定不能なた め、大学全体の数。機 械・器具および標本は 食物栄養科学部との 計。 図書、学術雑誌、視聴 覚資料の充実による増 加（4）
	食物栄養科学研究科	700,104(163,545) 694,591〔163,579〕 (700,104(163,545)) (694,591〔163,579〕)	9,552(1956) 9,527〔1,949〕 (9,552(1956)) (9,527〔1,949〕)	8,832(7,281) 8,735〔7,185〕 (8,832(7,281)) (8,735〔7,185〕)	11,241 11,155 (11,241) (11,155)	3,435 (3,187)	23 (23)	
	計	700,104(163,545) 694,591〔163,579〕 (700,104(163,545)) (694,591〔163,579〕)	9,552(1956) 9,527〔1,949〕 (9,552(1956)) (9,527〔1,949〕)	8,832(7,281) 8,735〔7,185〕 (8,832(7,281)) (8,735〔7,185〕)	11,241 11,155 (11,241) (11,155)	3,435 (3,187)	23 (23)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		用途変更による面積・ 座席数減（5） 座席数増（4）		
	11,386.21 12,499.61 ㎡	1,201 1,740 1,716		868,000				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					用途変更（5）	
	17,535.74 17,497.24 ㎡	総合スタジアム陸上トラック、ソフトボールグラウンド、 テニスコート、トレーニングスタジオ						

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体。大学院研究科単位での算出不能のため、大学学部との合計。 図書費には、電子ジャーナル、データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。
		教員1人当り研究費等	358千円	358千円	図書購入費	99,000千円	99,000千円	99,000千円	
	共同研究費等	90,000千円	90,000千円	設備購入費	392,000千円	392,000千円	392,000千円		
学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	776千円	776千円	千円	千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	武庫川女子大学										2	1	2	1
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(AC期間の学科のみ)	定員変更年度	開設年度	所在地	備考
文学部	4	350	3年次50	1,500	—	0.88	—	0.89	—	—	昭和33	—		
日本語日本文学科	4	150	3年次25	650	学士(日本文学)	1.00	—	1.01	—	—	昭和33	兵庫県西宮市池開町6番46号		
英語グローバル学科	4	200	3年次25	850	学士(国際コミュニケーション)	0.79	—	0.80	—	—	昭和33	同上	令和5年度より名称変更	
教育学科	4	—	—	—	学士(教育学)	—	—	—	—	—	昭和38	同上	平成31年度入学生より学生募集停止	
心理・社会福祉学科	4	—	—	—	学士(心理学)	—	—	—	—	—	平成12	同上	令和5年度入学生より学生募集停止	
教育学部	4	240	3年次25	1,010	—	1.02	—	1.02	—	—	平成31	—		
教育学科	4	240	3年次25	1,010	学士(教育学)	1.02	—	1.02	—	—	平成31	兵庫県西宮市池開町6番46号		
心理・社会福祉学部	4	220	0	880	—	0.99	—	0.99	—	—	令和5	—		
心理学科	4	150	0	600	学士(心理学)	0.96	—	0.96	—	—	令和5	兵庫県西宮市池開町6番46号		
社会福祉学科	4	70	0	280	学士(社会福祉学)	1.04	—	1.04	—	—	令和5	同上		
健康・スポーツ科学部	4	280	3年次20	1,160	—	0.97	—	0.96	—	—	平成23	—		
健康・スポーツ学科	4	180	3年次20	760	学士(健康科学)	0.99	—	1.01	—	—	平成23	兵庫県西宮市池開町6番46号		
スポーツマネジメント学科	4	100	0	400	学士(スポーツマネジメント)	0.57	—	0.57	—	—	令和5	同上		
生活環境学部	4	165	3年次20	700	—	1.04	—	1.06	—	—	平成6	—		
生活環境学科	4	165	3年次20	700	学士(生活環境学)	1.04	—	1.06	—	—	平成6	兵庫県西宮市池開町6番46号		
食物栄養学科	4	—	0	—	学士(食物栄養学)	—	—	—	—	—	平成6	同上	令和2年度入学生より学生募集停止	
情報メディア学科	4	—	0	—	学士(情報メディア学)	—	—	—	—	—	平成6	同上	令和5年度入学生より学生募集停止	
建築学科	4	—	0	—	学士(建築学)	—	—	—	—	—	平成18	兵庫県西宮市戸崎町1番13号	令和2年度入学生より学生募集停止	
社会情報学部	4	180	0	720	—	1.02	—	1.02	—	—	令和5	—		
社会情報学科	4	180	0	720	学士(社会情報学)	1.02	—	1.02	—	—	令和5	兵庫県西宮市池開町6番46号		
食物栄養科学部	4	280	3年次15	1,150	—	0.96	—	0.94	—	—	令和2	—		
食物栄養学科	4	200	3年次10	820	学士(食物栄養学)	0.99	—	0.97	—	—	令和2	兵庫県西宮市池開町6番46号		
食創造科学科	4	80	3年次5	330	学士(食創造科学)	0.89	—	0.85	—	—	令和2	同上		
建築学部	4	85	0	340	—	1.07	—	1.05	—	—	令和2	—		
建築学科	4	45	0	180	学士(建築学)	1.16	—	1.15	—	—	令和2	兵庫県西宮市戸崎町1番13号		
景観建築学科	4	40	0	160	学士(景観建築学)	0.97	—	0.95	—	—	令和2	同上		
音楽学部	4	50	0	200	—	0.72	—	0.70	—	—	平成21	—		
演奏学科	4	30	0	120	学士(音楽)	0.54	—	0.52	—	—	平成21	兵庫県西宮市池開町6番46号		
応用音楽学科	4	20	0	80	学士(応用音楽)	0.98	—	0.97	—	—	平成21	同上		
薬学部(6年制)	6	210	0	1,260	—	0.77	—	0.76	—	—	平成18	—		
薬学科	6	210	0	1,260	学士(薬学)	0.77	—	0.76	—	—	平成18	兵庫県西宮市甲子園九条町11番68号		
薬学部(4年制)	4	40	0	160	—	0.99	—	1.08	—	—	平成18	—		
健康生命薬科学科	4	40	0	160	学士(薬科学)	0.99	—	1.08	—	—	平成18	兵庫県西宮市甲子園九条町11番68号		
看護学部	4	80	0	320	—	1.10	—	1.09	—	—	平成27	—		
看護学科	4	80	0	320	学士(看護学)	1.10	—	1.09	—	—	平成27	兵庫県西宮市池開町6番46号		
経営学部	4	200	0	800	—	1.04	—	1.03	—	—	令和2	—		
経営学科	4	200	0	800	学士(経営学)	1.04	—	1.03	—	—	令和2	兵庫県西宮市池開町6番46号		
大学全体	4 6	2,170 210	3年次 130	10,200	—	—	—	—	—	—	—	—		

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「－」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「－」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず本字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

(掲載省略)

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<食物栄養科学研究科 食物栄養学専攻 (D) >

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>【武庫川女子大学FD推進委員会】</p> <p>平成20年1月に学長直属の全学組織として設置。構成員は、全学部学科等から選出された委員(各1人)と教務部長及び学長が委嘱した委員(令和4年度21人、令和5年度22人)。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>【武庫川女子大学FD推進委員会】</p> <p>令和4年度の委員会の開催は7回(5・7・8・10・11・1・2月)。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>【武庫川女子大学FD推進委員会】</p> <p>(1) 授業改善のための基本方針の策定に関する事項</p> <p>(2) 教員の研修会及び講習会の開催に関する事項</p> <p>(3) 教員の教授法及び教授活動の相互研鑽に関する事項</p> <p>(4) FD活動に関する情報の収集と提供に関する事項</p> <p>(5) 各学科の教員へのFD活動の啓発に関する事項</p> <p>(6) 教員の教授活動の支援に関する事項</p> <p>(7) その他、学長の諮問する事項及び委員会が必要と認めた事項</p>

② 実施状況

a 実施内容

【武庫川女子大学FD推進委員会】

令和2年度から、オンラインにて委員会を開催している。

ア. オンラインを中心とした全学的なFD講演会、勉強会等の企画・実施

イ. 授業公開及び授業改善奨励制度の企画・実施

ウ. FDニュースの編集・発行

エ. 各学部・学科におけるFDに関する情報共有

【食物栄養科学部・食物栄養科学研究科におけるFD活動】

学科教員を委員とする学科FD委員会が中心となり、FD活動を進めていく。

【上記の他、大学として行っているFD/SD活動の内容】

オ. 新任教員研修

b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む）

ア. オンラインを中心とした全学的なFD講演会、勉強会等の企画・実施

・教育改革講演会の開催（令和4年8月実施。テーマ：「大学におけるDXの取り組み」）

・週末FD授業サロンの開催（全3回開催）

・その他、共通教育部との共催企画

イ. 授業公開及び授業改善奨励制度の企画・実施

・前期、後期にそれぞれ期間を設けて授業公開を実施。

・日々の教育活動の中で授業改善につながるより良い授業方法の工夫と実践に取り組む教員への奨励制度の企画・運営。

ウ. FDニュースの編集・発行

・「FDニュース第21号」を令和4年2月に発行。ホームページでも公開。

エ. 各学部・学科におけるFDに関する情報共有

・各学科におけるFDの取組み状況の調査・報告。

オ. 新任教員研修

・本学の教育支援システムや、教育方法等の紹介、新任教員の同僚性の構築等を目的としたオンラインと対面のハイブリッド形式での研修を全15回実施。

・令和5年度についても、対面とオンラインのハイブリッド形式による15回のプログラムを計画している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・平成26年4月、事務局組織に「教育開発支援室」を設置（現在は「学長企画室」）し、大学教育改革推進委員会やFD推進委員会の庶務を担う専任職員を配置して全学の教育活動の支援体制を整えている。

同室では、学外で開催されるFD関係の研修会や高等教育に関連する研究会などについて、学内システムを利用して教員に案内し、教員の質向上につながる取り組みを行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

例年、以下のa、bの通り実施。

a 実施の有無及び実施時期

(1) 実施時期 前期（7月）、後期（12月中旬～1月初）

(2) 調査方法 学内の「授業アンケートシステム」に学生が直接入力

b 教員や学生への公開状況、方法等

・前期及び後期とも、授業担当者は授業期間内に、アンケート結果に対して学生に改善点等を含んだフィードバックを行うとともに、その結果はパソコン上でも閲覧可能としている。

・大学院も平成29年度より、原則、全ての研究科において講義科目を対象に実施。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

食物栄養科学研究科食物栄養学専攻博士後期課程では、既存の生活環境学研究科食物栄養学専攻の教育研究を継承し、高度化していく食物栄養科学の分野で、豊かな教養と感性、深い洞察力とコミュニケーション能力および研究力を備え、実践的指導力を有した人材育成を実施する。

令和5年5月1日現在の開設1年の現状においては、設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価を行う段階にはないが、入学定員2人に対して、令和4年度、令和5年度入試ともに1人の志願者があり、志願倍率は0.50倍となった。この結果を踏まえ、次年度以降の学生確保のため、研究科のホームページ等での広報活動を推進し、学生確保に向けた取り組みを強化することとした。

今後は設置計画を着実に履行し、食物栄養の分野にとどまらず、専門的な知識と技術を広く学び、食による予防・医療栄養を遂行できる指導力のある人材の養成に努めたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年3月31日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・令和11年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 無]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 公表後2～3ヶ月以内 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。

学校コード F128310108883

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 研究科の設置

注1

届出

注2

武庫川女子大学大学院 食物栄養科学研究科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人武庫川学院
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 経営企画部経営企画課

職名・氏名

電話番号 0798-45-3512

(夜間) 0798-45-3512

e-mail hozin@mukogawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

食物栄養科学研究科

＜食創造科学専攻（M）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	21
7. その他全般的事項	22

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人武庫川学院

(2) 大学名

武庫川女子大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒663-8558

兵庫県西宮市池開町6-46

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オオカワラ リョウ) 大河原 量 (平成13年9月)		
学長	(セグチ カズヨシ) 瀬口 和義 (平成30年4月)		
研究科長	(タカハシ キョウコ) 高橋 享子 (令和4年4月)		
専攻長	(マツウラ トシキ) 松浦 寿喜 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員		
食物栄養科学研究科 食創科学専攻(M) 修士(食創科学)	家政関係	2 年	4 人	2年次 0 人 3年次 — 人 4年次 — 人	8 人	—	<基礎となる学部等> 食物栄養科学部食創科学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	收容定員充足率	收容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	4 (—) [—]	— (—) [—]	4 (—) [—]	— (—) [—]	0.50倍	一倍	0.50倍	一倍	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	2 (—) [—]	— (—) [—]	3 (—) [—]	— (—) [—]					
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	2 (—) [—]	— (—) [—]	3 (—) [—]	— (—) [—]					
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	1 (—) [—]	— (—) [—]	3 (—) [—]	— (—) [—]					
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	1 (—) [—]	— (—) [—]	3 (—) [—]	— (—) [—]					
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	0.25	—	0.75	—					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 編入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
- ・ 「收容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の收容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33收容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の收容定員充足率を記載してください。
- ・ 「收容定員充足率(控除後)」には、「收容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「收容定員充足率」を記入してください。なお、「收容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	1 [—] (—)	0 [—] (—)	3 [—] (—)	0 [—] (—)	
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	1 [—] (—)	0 [—] (—)	
3年次			/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)
4年次	/						/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)
計			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。**また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
令和3年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
令和4年度	1 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
令和5年度	4 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{1} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{4} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<食物栄養科学研究科 食創造科学専攻 (M) >

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究指導科目	(論文指導)	1~2	—			8	1					
	食創造科学特別実験Ⅰ	1通	6			8	1					
	食創造科学特別実験Ⅱ	2通	6			8	1					
	小計(2科目)	—	12	0	0	8	1	0	0	0		
専門科目	研究倫理学特論	1前	2				2					
	食品機能学特論	1・2前		2		1						
	食品衛生学特論	1・2前		2		1						
	分子栄養学特論	1・2前		2		1						
	調理科学特論	1・2後		2		1						
	食品製造学特論	1・2前		2		1						
	食品開発学特論	1・2後		2		1						
	食品安全科学特論	1・2前		2		1						
	食品機器分析学特論	1・2後		2		1						
	食品化学特論	1・2前		2		1						
	食品加工学特論	1・2後		2							1	
	食品産業論特論	1・2前		1			1					
	リスク評価学特論	1・2後		2		1						
	フードビジネス学特論	1・2前		1		1						
	メニュー開発特論	1・2後		1		1						
	比較食文化特論	1・2前		1		1						
	グローバルフード学特論	1・2後		1			1					
	バイオビジネス特論	1・2前		1		1						
	醸造学特論	1・2後		1							1	
	フードモレキュラーバイオロジー	1・2前		1		1						
健康食品学特論	2後		2		1							
小計(21科目)	—	—	2	32		8	2	0	0	0	1	
関連科目	生物統計学	1前	1								1	
	病態栄養生理学特論	1前		1							1	
	栄養ケア食品特論	1・2前		2		1	1	1				
	小計(3科目)	—	—	1	3	0	1	1	1	0	0	2
合計(26科目)	—	—	15	35	0	8	3	1	0	0	3	
修了要件及び履修方法												
2年以上在学して、30単位以上を修得するとともに、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。(履修科目の登録の上限:設定なし) なお、専門科目の選択科目のうち、食品機能学特論、食品衛生学特論、分子栄養学特論、調理科学特論、食品製造学特論、食品開発学特論、食品安全科学特論、食品機器分析学特論から6単位を選択必修とする。												

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究指導科目	(論文指導)	1~2	—							9		
	食創造科学特別実験Ⅰ	1通	6							9		
	食創造科学特別実験Ⅱ	2通	6							9		
	小計(2科目)	—	—	12	0	0	9	0	0	0	0	
専門科目	研究倫理学特論	1前	2							2		
	食品機能学特論	1・2前		2		1						
	食品衛生学特論	1・2前		2		1						
	分子栄養学特論	1・2前		2		1						
	調理科学特論	1・2後		2		1						
	食品製造学特論	1・2前		2		1						
	食品開発学特論	1・2後		2		1						
	食品安全科学特論	1・2前		2		1						
	食品機器分析学特論	1・2後		2		1						
	食品化学特論	1・2前		2		1						
	食品加工学特論	1・2後		2							1	
	食品産業論特論	1・2前		1			1					
	リスク評価学特論	1・2後		2		1						
	フードビジネス学特論	1・2前		1		1						
	メニュー開発特論	1・2後		1		1						
	比較食文化特論	1・2前		1						1		
	グローバルフード学特論	1・2後		1			1					
	バイオビジネス特論	1・2前		1		1						
	醸造学特論	1・2後		1							1	
	フードモレキュラーバイオロジー	1・2前		1		1						
健康食品学特論	2後		2		1							
小計(21科目)	—	—	2	32		8	2	0	0	0	1	
関連科目	生物統計学	1前	1									1
	病態栄養生理学特論	1前		1								1
	栄養ケア食品特論	1・2前		2		2	1			0	0	0
	小計(3科目)	—	—	1	3	0	2	1	0	0	0	2
合計(26科目)	—	—	15	35	0	9	3	0	0	0	3	
修了要件及び履修方法												
2年以上在学して、30単位以上を修得するとともに、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。(履修科目の登録の上限:設定なし) なお、専門科目の選択科目のうち、食品機能学特論、食品衛生学特論、分子栄養学特論、調理科学特論、食品製造学特論、食品開発学特論、食品安全科学特論、食品機器分析学特論から6単位を選択必修とする。												

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究指導科目	(論文指導)	1~2	—			8	1					
	食創造科学特別実験Ⅰ	1通	6			8	1					
	食創造科学特別実験Ⅱ	2通	6			8	1					
	小計(2科目)	—	12	0	0	8	1	0	0	0		
専門科目	研究倫理学特論	1前	2				2					
	食品機能学特論	1・2前		2		1						
	食品衛生学特論	1・2前		2		1						
	分子栄養学特論	1・2前		2		1						
	調理科学特論	1・2後		2		1						
	食品製造学特論	1・2前		2		1						
	食品開発学特論	1・2後		2		1						
	食品安全科学特論	1・2前		2		1						
	食品機器分析学特論	1・2後		2		1						
	食品化学特論	1・2前		2		1						
	食品加工学特論	1・2後		2								1
	食品産業論特論	1・2前		1			1					
	リスク評価学特論	1・2後		2		1						
	フードビジネス学特論	1・2前		1		1						
	メニュー開発特論	1・2後		1		1						
	比較食文化特論	1・2前		1		1						
	グローバルフード学特論	1・2後		1			1					
	バイオビジネス特論	1・2前		1		1						
	醸造学特論	1・2後		1								1
	フードモレキュラーバイオロジー	1・2前		1		1						
健康食品学特論	2後		2		1							
小計(21科目)	—	2	32		8	2	0	0	0	1		
関連科目	生物統計学	1前	1									1
	病態栄養生理学特論	1前		1								1
	栄養ケア食品特論	1・2前		2		1	2	0	0	0	0	2
	小計(3科目)	—	1	3	0	1	2	0	0	0	2	
合計(26科目)			—	15	35	0	8	4	0	0	0	3
修了要件及び履修方法												
2年以上在学して、30単位以上を修得するとともに、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。(履修科目の登録の上限：設定なし) なお、専門科目の選択科目のうち、食品機能学特論、食品衛生学特論、分子栄養学特論、調理科学特論、食品製造学特論、食品開発学特論、食品安全科学特論、食品機器分析学特論から6単位を選択必修とする。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・担当専任教員の職位変更に伴い以下の科目の専任教員等の配置を変更。
「栄養ケア食品特論」教授1・准教授1・講師1→教授1・准教授2

【令和5年度】

- ・担当専任教員の職位変更に伴い以下の科目の専任教員等の配置を変更。
「(論文指導)」教授8・准教授1→教授9、「食創造科学特別実験Ⅰ」教授8・准教授1→教授9、
「食創造科学特別実験Ⅱ」教授8・准教授1→教授9、「栄養ケア食品特論」教授1・准教授2→教授2・准教授1
- ・担当者変更に伴い以下の科目の専任教員等の配置を変更。
「比較食文化特論」教授1→准教授1

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
4 科目	22 科目	0 科目	26 科目	4 科目	22 科目	0 科目	26 科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{26} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	武庫川女子大学短期大 学部（必要面積14,000 ㎡）と共用 駐輪場用途変更、校舎 敷地拡張、実験住宅棟 敷地取得（4） 堅忍寮ひろば処分 （4） 笠屋IH寮取得、堅忍寮 処分（4） 借用面積：1,129.19㎡ 借用期間：～令和30年 11月		
	校 舎 敷 地	68,039.60 ㎡	78,305.89 77,747.55 ㎡	0 ㎡	146,345.49 145,787.15 ㎡			
	運 動 場 用 地	0 ㎡	90,463.09 92,502.75 ㎡	0 ㎡	90,463.09 92,502.75 ㎡			
	小 計	68,039.60 ㎡	168,768.98 170,250.30 ㎡	0 ㎡	236,808.58 238,289.90 ㎡			
	そ の 他	0 ㎡	8,408.27 9627.66 ㎡	0 ㎡	8,408.27 9627.66 ㎡			
	合 計	68,039.60 ㎡	177,177.25 179,877.96 ㎡	0 ㎡	245,216.85 247,917.56 ㎡			
(2) 校 舎	専 用		共 用	共用する他の 学校等の専用	計	武庫川女子大学短期大 学部（必要面積10,450 ㎡）と共用 景観棟実習室建物種類変 更、第17カブス・第2体育館・ 西北C栄養クリニック用途変更、生 活環境2号館登記面積修正、 丹後学苑教員棟除却（5） 景観建築スタジオ西館新築、生活 環境2号館新棟新築、食物栄養科学 館別館新築、同面積差異修正、実 験住宅棟取得、訪問看護SI廃止 （4）		
	71,942.11	72,030.11	119,601.86 119,576.65	0 ㎡	191,543.97 191,606.76			
	72,056.13 ㎡	118,718.08 ㎡	0 ㎡	190,774.21 ㎡				
	(68,335.36)	(116,268.57)		(184,603.93)				
	(69,261.21)	(115,507.65)		(184,768.86)				
	(69,363.31㎡)	(115,968.32㎡)	(0 ㎡)	(185,331.63㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	室数変更（5） 室数変更（4） 大学全体		
	161 156	219 212	449 455	10 12 室	4 室			
	147 室	196 室	411 室	(補助職員 1 人)	(補助職員 2 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	食物栄養科学研究科 食創造科学専攻			12 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	図書・学術雑誌・電子 ジャーナル・視聴覚資 料については、研究科 単位での特定不能な ため、大学全体の数。機 械・器具および標本は 食物栄養学部との 計。 図書、学術雑誌、視聴 覚資料の充実による増 加（4）
	食物栄養科学研究科	700,104(163,545) 694,591〔163,579〕	9,552(1956) 9,527〔1,949〕	8,832(7,281) 8,735〔7,185〕	11,241 11,155	3,435	23	
		(700,104(163,545)) (694,591〔163,579〕)	(9,552(1956)) (9,527〔1,949〕)	(8,832(7,281)) (8,735〔7,185〕)	(11,241) (11,155)	(3,187)	(23)	
	計	700,104(163,545) 694,591〔163,579〕	9,552(1956) 9,527〔1,949〕	8,832(7,281) 8,735〔7,185〕	11,241 11,155	3,435	23	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		用途変更による面積・ 座席数減（5） 座席数増（4）		
	11,386.21 12,499.61 ㎡	1,201 1,740		868,000				
		1,716						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				用途変更（5）		
	17,535.74 17,497.24 ㎡	総合スタジアム陸上トラック、ソフトボールグラウンド、 テニスコート、トレーニングスタジオ						

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体。大学院研究科単位での算出不能のため、大学学部との合計。 図書費には、電子ジャーナル、データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。
		教員1人当り研究費等	358千円	358千円	図書購入費	99,000千円	99,000千円	99,000千円	
	共同研究費等	90,000千円	90,000千円	設備購入費	392,000千円	392,000千円	392,000千円		
学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	776千円	776千円	千円	千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	武庫川女子大学										2	1	2	1
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
文学部	4	350	3年次50	1,500	—	0.88	—	0.89	—	—	昭和33	—		
日本語日本文学科	4	150	3年次25	650	学士(日本語日本文学)	1.00	—	1.01	—	—	昭和33	兵庫県西宮市池開町6番46号		
英語グローバル学科	4	200	3年次25	850	学士(英語グローバル)	0.79	—	0.80	—	—	昭和33	同上	令和5年度より名称変更	
教育学科	4	—	—	—	学士(教育学)	—	—	—	—	—	昭和38	同上	平成31年度入学生より学生募集停止	
心理・社会福祉学科	4	—	—	—	学士(心理学・社会福祉学)	—	—	—	—	—	平成12	同上	令和5年度入学生より学生募集停止	
教育学部	4	240	3年次25	1,010	—	1.02	—	1.02	—	—	平成31	—		
教育学科	4	240	3年次25	1,010	学士(教育学)	1.02	—	1.02	—	—	平成31	兵庫県西宮市池開町6番46号		
心理・社会福祉学部	4	220	0	880	—	0.99	—	0.99	—	—	令和5	—		
心理学科	4	150	0	600	学士(心理学)	0.96	—	0.96	—	—	令和5	兵庫県西宮市池開町6番46号		
社会福祉学科	4	70	0	280	学士(社会福祉学)	1.04	—	1.04	—	—	令和5	同上		
健康・スポーツ科学部	4	280	3年次20	1,160	—	0.97	—	0.96	—	—	平成23	—		
健康・スポーツ学科	4	180	3年次20	760	学士(健康・スポーツ)	0.99	—	1.01	—	—	平成23	兵庫県西宮市池開町6番46号		
スポーツマネジメント学科	4	100	0	400	学士(スポーツマネジメント)	0.57	—	0.57	—	—	令和5	同上		
生活環境学部	4	165	3年次20	700	—	1.04	—	1.06	—	—	平成6	—		
生活環境学科	4	165	3年次20	700	学士(生活環境学)	1.04	—	1.06	—	—	平成6	兵庫県西宮市池開町6番46号		
食物栄養学科	4	—	0	—	学士(食物栄養学)	—	—	—	—	—	平成6	同上	令和2年度入学生より学生募集停止	
情報メディア学科	4	—	0	—	学士(情報メディア)	—	—	—	—	—	平成6	同上	令和5年度入学生より学生募集停止	
建築学科	4	—	0	—	学士(建築学)	—	—	—	—	—	平成18	兵庫県西宮市戸崎町1番13号	令和2年度入学生より学生募集停止	
社会情報学部	4	180	0	720	—	1.02	—	1.02	—	—	令和5	—		
社会情報学科	4	180	0	720	学士(社会情報学)	1.02	—	1.02	—	—	令和5	兵庫県西宮市池開町6番46号		
食物栄養科学部	4	280	3年次15	1,150	—	0.96	—	0.94	—	—	令和2	—		
食物栄養学科	4	200	3年次10	820	学士(食物栄養学)	0.99	—	0.97	—	—	令和2	兵庫県西宮市池開町6番46号		
食創造科学科	4	80	3年次5	330	学士(食創造科学)	0.89	—	0.85	—	—	令和2	同上		
建築学部	4	85	0	340	—	1.07	—	1.05	—	—	令和2	—		
建築学科	4	45	0	180	学士(建築学)	1.16	—	1.15	—	—	令和2	兵庫県西宮市戸崎町1番13号		
景観建築学科	4	40	0	160	学士(景観建築学)	0.97	—	0.95	—	—	令和2	同上		
音楽学部	4	50	0	200	—	0.72	—	0.70	—	—	平成21	—		
演奏学科	4	30	0	120	学士(音楽)	0.54	—	0.52	—	—	平成21	兵庫県西宮市池開町6番46号		
応用音楽学科	4	20	0	80	学士(応用音楽)	0.98	—	0.97	—	—	平成21	同上		
薬学部(6年制)	6	210	0	1,260	—	0.77	—	0.76	—	—	平成18	—		
薬学科	6	210	0	1,260	学士(薬学)	0.77	—	0.76	—	—	平成18	兵庫県西宮市甲子園九条町11番68号		
薬学部(4年制)	4	40	0	160	—	0.99	—	1.08	—	—	平成18	—		
健康生命薬科学科	4	40	0	160	学士(薬科学)	0.99	—	1.08	—	—	平成18	兵庫県西宮市甲子園九条町11番68号		
看護学部	4	80	0	320	—	1.10	—	1.09	—	—	平成27	—		
看護学科	4	80	0	320	学士(看護学)	1.10	—	1.09	—	—	平成27	兵庫県西宮市池開町6番46号		
経営学部	4	200	0	800	—	1.04	—	1.03	—	—	令和2	—		
経営学科	4	200	0	800	学士(経営学)	1.04	—	1.03	—	—	令和2	兵庫県西宮市池開町6番46号		
大学全体	4 6	2,170 210	3年次 130	10,200	—	—	—	—	—	—	—	—		

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「－」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず本字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

(掲載省略)

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<食物栄養科学研究科 食創造科学専攻（M）>

（1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
なし	

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>【武庫川女子大学FD推進委員会】</p> <p>平成20年1月に学長直属の全学組織として設置。構成員は、全学部学科等から選出された委員（各1人）と教務部長及び学長が委嘱した委員（令和4年度21人、令和5年度22人）。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>【武庫川女子大学FD推進委員会】</p> <p>令和4年度の委員会の開催は7回（5・7・8・10・11・1・2月）。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>【武庫川女子大学FD推進委員会】</p> <p>(1) 授業改善のための基本方針の策定に関する事項</p> <p>(2) 教員の研修会及び講習会の開催に関する事項</p> <p>(3) 教員の教授法及び教授活動の相互研鑽に関する事項</p> <p>(4) FD活動に関する情報の収集と提供に関する事項</p> <p>(5) 各学科の教員へのFD活動の啓発に関する事項</p> <p>(6) 教員の教授活動の支援に関する事項</p> <p>(7) その他、学長の諮問する事項及び委員会が必要と認めた事項</p>

② 実施状況

a 実施内容

【武庫川女子大学FD推進委員会】

令和2年度から、オンラインにて委員会を開催している。

ア. オンラインを中心とした全学的なFD講演会、勉強会等の企画・実施

イ. 授業公開及び授業改善奨励制度の企画・実施

ウ. FDニュースの編集・発行

エ. 各学部・学科におけるFDに関する情報共有

【食物栄養科学部・食物栄養科学研究科におけるFD活動】

学科教員を委員とする学科FD委員会が中心となり、FD活動を進めていく。

【上記の他、大学として行っているFD/SD活動の内容】

オ. 新任教員研修

b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む）

ア. オンラインを中心とした全学的なFD講演会、勉強会等の企画・実施

・教育改革講演会の開催（令和4年8月実施。テーマ：「大学におけるDXの取り組み」）

・週末FD授業サロンの開催（全3回開催）

・その他、共通教育部との共催企画

イ. 授業公開及び授業改善奨励制度の企画・実施

・前期、後期にそれぞれ期間を設けて授業公開を実施。

・日々の教育活動の中で授業改善につながるより良い授業方法の工夫と実践に取り組む教員への奨励制度の企画・運営。

ウ. FDニュースの編集・発行

・「FDニュース第21号」を令和4年2月に発行。ホームページでも公開。

エ. 各学部・学科におけるFDに関する情報共有

・各学科におけるFDの取組み状況の調査・報告。

オ. 新任教員研修

・本学の教育支援システムや、教育方法等の紹介、新任教員の同僚性の構築等を目的としたオンラインと対面のハイブリッド形式での研修を全15回実施。

・令和5年度についても、対面とオンラインのハイブリッド形式による15回のプログラムを計画している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・平成26年4月、事務局組織に「教育開発支援室」を設置（現在は「学長企画室」）し、大学教育改革推進委員会やFD推進委員会の庶務を担う専任職員を配置して全学の教育活動の支援体制を整えている。

同室では、学外で開催されるFD関係の研修会や高等教育に関連する研究会などについて、学内システムを利用して教員に案内し、教員の質向上につながる取り組みを行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

例年、以下のa、bの通り実施。

a 実施の有無及び実施時期

(1) 実施時期 前期（7月）、後期（12月中旬～1月初）

(2) 調査方法 学内の「授業アンケートシステム」に学生が直接入力

b 教員や学生への公開状況、方法等

・前期及び後期とも、授業担当者は授業期間内に、アンケート結果に対して学生に改善点等を含んだフィードバックを行うとともに、その結果はパソコン上でも閲覧可能としている。

・大学院も平成29年度より、原則、全ての研究科において講義科目を対象に実施。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

食物栄養科学研究科食創造科学専攻修士課程では、食を取り巻く複雑な諸課題に対し、本学が長きにわたり培ってきた栄養科学の教育・研究の実績をもとに、食と栄養にかかわる諸課題を俯瞰的かつ総合的に捉えて解決することのできる人材育成の実施を目的とする。

令和5年5月1日現在の開設1年の現状においては、設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価を行う段階にはないが、入学定員4人に対して、令和4年度入試においては2人、令和5年度入試においては3人の志願者があり、平均志願倍率は0.75倍となった。このことは、本専攻の特色が一定程度理解されていると判断できる。

今後は設置計画を着実に履行し、研究科のホームページ等での広報活動を推進し、学生確保に向けた取り組みを強化するなどして、設置計画を着実に履行するための不断の努力を傾けていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年3月31日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・令和11年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

学校コード F128310108883

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 研究科の設置

注1

届出

注2

武庫川女子大学大学院 食物栄養科学研究科

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人武庫川学院
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 経営企画部経営企画課

職名・氏名

電話番号 0798-45-3512

(夜間) 0798-45-3512

e-mail hozin@mukogawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

食物栄養科学研究科

＜食創造科学専攻（D）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	20
7. その他全般的事項	21

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人武庫川学院

(2) 大学名

武庫川女子大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒663-8558

兵庫県西宮市池開町6-46

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オオカワラ リョウ) 大河原 量 (平成13年9月)		
学長	(セグチ カズヨシ) 瀬口 和義 (平成30年4月)		
研究科長	(タカハシ キョウコ) 高橋 享子 (令和4年4月)		
専攻長	(マツウラ トシキ) 松浦 寿喜 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
食物栄養科学研究科 食創科学専攻(D) 博士(食創科学)	家政関係	3年	2人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 —人	6人	—	<基礎となる学部等> 食物栄養科学部食創科学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	2人 (—) [—]	—人 (—) [—]	2人 (—) [—]	—人 (—) [—]	0.00倍	一倍	0.00倍	一倍	
志願者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	0 (—) [—]	(—) [—]	0 (—) [—]	(—) [—]					
受験者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	0 (—) [—]	(—) [—]	0 (—) [—]	(—) [—]					
合格者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	0 (—) [—]	(—) [—]	0 (—) [—]	(—) [—]					
B 入学者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	0 (—) [—]	(—) [—]	0 (—) [—]	(—) [—]					
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	0.00	—	0.00	—					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 編入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・ また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
- ・ 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
- ・ なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- ・ なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	0 [—] (—)	0 [—] (—)	0 [—] (—)	0 [—] (—)	
2年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	0 [—] (—)	0 [—] (—)	
3年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	0 [—] (—)	0 [—] (—)	0 [—] (—)	0 [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。**また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
令和3年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
令和4年度	0 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
令和5年度	0 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\quad} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\quad} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<食物栄養科学研究科 食創造科学専攻（D）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	食創造科学特殊演習	1前	1			7						
	小計（1科目）	-	1	0	0	7	0	0	0	0		
研究指導科目	論文指導Ⅰ	1前	1			7						
	論文指導Ⅱ	1後	1			7						
	論文指導Ⅲ	2前	1			7						
	論文指導Ⅳ	2後	1			7						
	論文指導Ⅴ	3前	1			7						
	論文指導Ⅵ	3後	1			7						
	小計（6科目）	-	6	0	0	7	0	0	0	0		
合計（7科目）	-	7	0	0	7	0	0	0	0			
修了要件及び履修方法												
3年以上在学して、7単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出して、その審査及び最終試験を受ける。 (履修科目の登録の上限：設定なし)												

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	食創造科学特殊演習	1前	1			7						
	小計（1科目）	-	1	0	0	7	0	0	0	0		
研究指導科目	論文指導Ⅰ	1前	1			7						
	論文指導Ⅱ	1後	1			7						
	論文指導Ⅲ	2前	1			7						
	論文指導Ⅳ	2後	1			7						
	論文指導Ⅴ	3前	1			7						
	論文指導Ⅵ	3後	1			7						
	小計（6科目）	-	6	0	0	7	0	0	0	0		
合計（7科目）	-	7	0	0	7	0	0	0	0			
修了要件及び履修方法												
3年以上在学して、7単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出して、その審査及び最終試験を受ける。 (履修科目の登録の上限：設定なし)												

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	食創造科学特殊演習	1前	1			7						
	小計（1科目）	-	1	0	0	7	0	0	0	0		
研究指導科目	論文指導Ⅰ	1前	1			7						
	論文指導Ⅱ	1後	1			7						
	論文指導Ⅲ	2前	1			7						
	論文指導Ⅳ	2後	1			7						
	論文指導Ⅴ	3前	1			7						
	論文指導Ⅵ	3後	1			7						
	小計（6科目）	-	6	0	0	7	0	0	0	0		
合計（7科目）	-	7	0	0	7	0	0	0	0			
修了要件及び履修方法												
3年以上在学して、7単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出して、その審査及び最終試験を受ける。 (履修科目の登録の上限：設定なし)												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

特になし。

【令和5年度】

特になし。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
7 科目	0 科目	0 科目	7 科目	7 科目 [0]	0 科目 [0]	0 科目 [0]	7 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{7} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	武庫川女子大学短期大 学部（必要面積14,000 ㎡）と共用 駐輪場用途変更、校舎 敷地拡張、実験住宅棟 敷地取得（4） 堅忍寮ひろば処分 （4） 笠屋IH寮取得、堅忍寮 処分（4） 借用面積：1,129.19㎡ 借用期間：～令和30年 11月		
	校 舎 敷 地	68,039.60 ㎡	77,747.55 ㎡	0 ㎡	146,345.49 ㎡			
	運 動 場 用 地	0 ㎡	90,463.09 ㎡	0 ㎡	90,463.09 ㎡			
	小 計	68,039.60 ㎡	170,250.30 ㎡	0 ㎡	238,289.90 ㎡			
	そ の 他	0 ㎡	8,408.27 ㎡	0 ㎡	8,408.27 ㎡			
	合 計	68,039.60 ㎡	177,177.25 ㎡	0 ㎡	245,216.85 ㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	武庫川女子大学短期大 学部（必要面積10,450 ㎡）と共用 景観棟実習室建物種類変 更、第17ホール・第2体育館・ 西北C栄養クリニック用途変更、生 活環境2号館登記面積修正、 丹後学苑教員棟除却（5） 景観建築スタジオ西館新築、生活 環境2号館新棟新築、食物栄養科学 館別館新築、同面積差異修正、実 験住宅棟取得、訪問看護SI廃止 （4）			
	71,942.11	119,601.86		191,543.97				
	72,030.11	119,576.65		191,606.76				
	72,056.13 ㎡	118,718.08 ㎡	0 ㎡	190,774.21 ㎡				
	(68,335.36)	(116,268.57)		(184,603.93)				
	(69,261.21)	(115,507.65)		(184,768.86)				
(69,363.31㎡)	(115,968.32㎡)	(0 ㎡)	(185,331.63㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	室数変更（5） 室数変更（4） 大学全体		
	161	219	449	10	4			
	156	212	455	12	4			
	147 室	196 室	411 室	(補助職員 1 人)	(補助職員 2 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	食物栄養科学研究科 食創造科学専攻			7 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	図書・学術雑誌・電子 ジャーナル・視聴覚資 料については、研究科 単位での特定不能な ため、大学全体の数。機 械・器具および標本は 食物栄養学部との 計。 図書、学術雑誌、視聴 覚資料の充実による増 加（4）
	食物栄養科学研究科	700,104(163,545) 694,591〔163,579〕	9,552(1956) 9,527〔1,949〕	8,832(7,281) 8,735〔7,185〕	11,241 11,155	3,435	23	
		(700,104(163,545)) (694,591〔163,579〕)	(9,552(1956)) (9,527〔1,949〕)	(8,832(7,281)) (8,735〔7,185〕)	(11,241) (11,155)	(3,187)	(23)	
	計	700,104(163,545) 694,591〔163,579〕	9,552(1956) 9,527〔1,949〕	8,832(7,281) 8,735〔7,185〕	11,241 11,155	3,435	23	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		用途変更による面積・ 座席数減（5） 座席数増（4）		
	11,386.21	1,201						
	12,499.61	1,740		868,000				
	㎡	1,716						
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				用途変更（5）		
	17,535.74	総合スタジアム陸上トラック、ソフトボールグラウンド、 テニスコート、トレーニングスタジオ						
	㎡							

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体。大学院研究科単位での算出不能のため、大学学部との合計。 図書費には、電子ジャーナル、データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。
		教員1人当り研究費等	358千円	358千円	図書購入費	99,000千円	99,000千円	99,000千円	
	共同研究費等	90,000千円	90,000千円	設備購入費	392,000千円	392,000千円	392,000千円		
学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	776千円	776千円	千円	千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	武庫川女子大学										2	1	2	1
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(AC期間の学科のみ)	定員変更年度	開設年度	所在地	備考
文学部	4	350	3年次50	1,500	—	0.88	—	0.89	—	—	昭和33	—		
日本語日本文学科	4	150	3年次25	650	学士(日本文学)	1.00	—	1.01	—	—	昭和33	兵庫県西宮市池開町6番46号		
英語グローバル学科	4	200	3年次25	850	学士(英語グローバル)	0.79	—	0.80	—	—	昭和33	同上	令和5年度より名称変更	
教育学科	4	—	—	—	学士(教育学)	—	—	—	—	—	昭和38	同上	平成31年度入学生より学生募集停止	
心理・社会福祉学科	4	—	—	—	学士(心理学)	—	—	—	—	—	平成12	同上	令和5年度入学生より学生募集停止	
教育学部	4	240	3年次25	1,010	—	1.02	—	1.02	—	—	平成31	—		
教育学科	4	240	3年次25	1,010	学士(教育学)	1.02	—	1.02	—	—	平成31	兵庫県西宮市池開町6番46号		
心理・社会福祉学部	4	220	0	880	—	0.99	—	0.99	—	—	令和5	—		
心理学科	4	150	0	600	学士(心理学)	0.96	—	0.96	—	—	令和5	兵庫県西宮市池開町6番46号		
社会福祉学科	4	70	0	280	学士(社会福祉学)	1.04	—	1.04	—	—	令和5	同上		
健康・スポーツ科学部	4	280	3年次20	1,160	—	0.97	—	0.96	—	—	平成23	—		
健康・スポーツ学科	4	180	3年次20	760	学士(健康・スポーツ)	0.99	—	1.01	—	—	平成23	兵庫県西宮市池開町6番46号		
スポーツマネジメント学科	4	100	0	400	学士(スポーツマネジメント)	0.57	—	0.57	—	—	令和5	同上		
生活環境学部	4	165	3年次20	700	—	1.04	—	1.06	—	—	平成6	—		
生活環境学科	4	165	3年次20	700	学士(生活環境学)	1.04	—	1.06	—	—	平成6	兵庫県西宮市池開町6番46号		
食物栄養学科	4	—	0	—	学士(食物栄養学)	—	—	—	—	—	平成6	同上	令和2年度入学生より学生募集停止	
情報メディア学科	4	—	0	—	学士(情報メディア)	—	—	—	—	—	平成6	同上	令和5年度入学生より学生募集停止	
建築学科	4	—	0	—	学士(建築学)	—	—	—	—	—	平成18	兵庫県西宮市戸崎町1番13号	令和2年度入学生より学生募集停止	
社会情報学部	4	180	0	720	—	1.02	—	1.02	—	—	令和5	—		
社会情報学科	4	180	0	720	学士(社会情報学)	1.02	—	1.02	—	—	令和5	兵庫県西宮市池開町6番46号		
食物栄養科学部	4	280	3年次15	1,150	—	0.96	—	0.94	—	—	令和2	—		
食物栄養学科	4	200	3年次10	820	学士(食物栄養学)	0.99	—	0.97	—	—	令和2	兵庫県西宮市池開町6番46号		
食創造科学科	4	80	3年次5	330	学士(食創造科学)	0.89	—	0.85	—	—	令和2	同上		
建築学部	4	85	0	340	—	1.07	—	1.05	—	—	令和2	—		
建築学科	4	45	0	180	学士(建築学)	1.16	—	1.15	—	—	令和2	兵庫県西宮市戸崎町1番13号		
景観建築学科	4	40	0	160	学士(景観建築学)	0.97	—	0.95	—	—	令和2	同上		
音楽学部	4	50	0	200	—	0.72	—	0.70	—	—	平成21	—		
演奏学科	4	30	0	120	学士(音楽)	0.54	—	0.52	—	—	平成21	兵庫県西宮市池開町6番46号		
応用音楽学科	4	20	0	80	学士(応用音楽)	0.98	—	0.97	—	—	平成21	同上		
薬学部(6年制)	6	210	0	1,260	—	0.77	—	0.76	—	—	平成18	—		
薬学科	6	210	0	1,260	学士(薬学)	0.77	—	0.76	—	—	平成18	兵庫県西宮市甲子園九条町11番68号		
薬学部(4年制)	4	40	0	160	—	0.99	—	1.08	—	—	平成18	—		
健康生命薬科学科	4	40	0	160	学士(薬科学)	0.99	—	1.08	—	—	平成18	兵庫県西宮市甲子園九条町11番68号		
看護学部	4	80	0	320	—	1.10	—	1.09	—	—	平成27	—		
看護学科	4	80	0	320	学士(看護学)	1.10	—	1.09	—	—	平成27	兵庫県西宮市池開町6番46号		
経営学部	4	200	0	800	—	1.04	—	1.03	—	—	令和2	—		
経営学科	4	200	0	800	学士(経営学)	1.04	—	1.03	—	—	令和2	兵庫県西宮市池開町6番46号		
大学全体	4 6	2,170 210	3年次 130	10,200	—	—	—	—	—	—	—	—		

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「－」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「－」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず本字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

(掲載省略)

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<食物栄養科学研究科 食創造科学専攻 (D) >

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>【武庫川女子大学FD推進委員会】</p> <p>平成20年1月に学長直属の全学組織として設置。構成員は、全学部学科等から選出された委員(各1人)と教務部長及び学長が委嘱した委員(令和4年度21人、令和5年度22人)。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>【武庫川女子大学FD推進委員会】</p> <p>令和4年度の委員会の開催は7回(5・7・8・10・11・1・2月)。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>【武庫川女子大学FD推進委員会】</p> <p>(1) 授業改善のための基本方針の策定に関する事項</p> <p>(2) 教員の研修会及び講習会の開催に関する事項</p> <p>(3) 教員の教授法及び教授活動の相互研鑽に関する事項</p> <p>(4) FD活動に関する情報の収集と提供に関する事項</p> <p>(5) 各学科の教員へのFD活動の啓発に関する事項</p> <p>(6) 教員の教授活動の支援に関する事項</p> <p>(7) その他、学長の諮問する事項及び委員会が必要と認めた事項</p>

② 実施状況

a 実施内容

【武庫川女子大学FD推進委員会】

令和2年度から、オンラインにて委員会を開催している。

ア. オンラインを中心とした全学的なFD講演会、勉強会等の企画・実施

イ. 授業公開及び授業改善奨励制度の企画・実施

ウ. FDニュースの編集・発行

エ. 各学部・学科におけるFDに関する情報共有

【食物栄養科学部・食物栄養科学研究科におけるFD活動】

学科教員を委員とする学科FD委員会が中心となり、FD活動を進めていく。

【上記の他、大学として行っているFD/SD活動の内容】

オ. 新任教員研修

b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む）

ア. オンラインを中心とした全学的なFD講演会、勉強会等の企画・実施

・教育改革講演会の開催（令和4年8月実施。テーマ：「大学におけるDXの取り組み」）

・週末FD授業サロンの開催（全3回開催）

・その他、共通教育部との共催企画

イ. 授業公開及び授業改善奨励制度の企画・実施

・前期、後期にそれぞれ期間を設けて授業公開を実施。

・日々の教育活動の中で授業改善につながるより良い授業方法の工夫と実践に取り組む教員への奨励制度の企画・運営。

ウ. FDニュースの編集・発行

・「FDニュース第21号」を令和4年2月に発行。ホームページでも公開。

エ. 各学部・学科におけるFDに関する情報共有

・各学科におけるFDの取組み状況の調査・報告。

オ. 新任教員研修

・本学の教育支援システムや、教育方法等の紹介、新任教員の同僚性の構築等を目的としたオンラインと対面のハイブリッド形式での研修を全15回実施。

・令和5年度についても、対面とオンラインのハイブリッド形式による15回のプログラムを計画している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・平成26年4月、事務局組織に「教育開発支援室」を設置（現在は「学長企画室」）し、大学教育改革推進委員会やFD推進委員会の庶務を担う専任職員を配置して全学の教育活動の支援体制を整えている。

同室では、学外で開催されるFD関係の研修会や高等教育に関連する研究会などについて、学内システムを利用して教員に案内し、教員の質向上につながる取り組みを行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

例年、以下のa、bの通り実施。

a 実施の有無及び実施時期

(1) 実施時期 前期（7月）、後期（12月中旬～1月初）

(2) 調査方法 学内の「授業アンケートシステム」に学生が直接入力

b 教員や学生への公開状況、方法等

・前期及び後期とも、授業担当者は授業期間内に、アンケート結果に対して学生に改善点等を含んだフィードバックを行うとともに、その結果はパソコン上でも閲覧可能としている。

・大学院も平成29年度より、原則、全ての研究科において講義科目を対象に実施。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

食物栄養科学研究科食創造科学専攻博士後期課程では、食を取り巻く複雑な諸課題に対し、本学が長きにわたり培ってきた栄養科学の教育・研究の実績をもとに、食と栄養にかかわる諸課題を俯瞰的かつ総合的に捉えて解決することのできる人材育成の実施を目的とする。

令和5年5月1日現在の開設1年の現状においては、設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価を行う段階にはないが、設置届出書において学生確保の見通しを明らかにしたにもかかわらず、令和4年度、令和5年度入試ともに志願者は0名であった。この結果を踏まえ、次年度以降の学生確保のため、研究科のホームページ等での広報活動を推進し、学生確保に向けた取り組みを強化することとしたい。

今後は設置計画を着実に履行し、設置計画を着実に履行するための不断の努力を傾けていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年3月31日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・令和11年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。